

Newsletter

学会会報

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

< 目 次 >

- ・ 理事会報告
- ・ 総会報告
- ・ 第 15 回大会報告
- ・ 日本学術会議より
- ・ 学会誌「カリキュラム研究」第 14 号 論文募集
- ・ 事務局から

< 理事会 報告 >

[2004 年 7 月 2 日(金)午後 5 時 ~ 6 時半 (於) 中部会計専門学院]

理事会が 7 月 2 日(金)午後 5 時から 6 時半過ぎまで、名鉄本線知立駅前の中部会計専門学院の一室で開催されました。理事 15 名と事務局 2 名が参加し、下記の議題を審議、決定しましたのでお知らせいたします。

[議題]

(1) 総会議案について

平成 15 年度活動報告・決算(案)および平成 16 年度活動方針・予算(案)について、予算案の計算上のミスを修正して、以下の数字上の変化のある項目を含め、例年の諸項目をすべて承認した。

1) 現況概要：会員総数 806 名(一般 655 名。学生 142 名。団体 9 名)、うち新入会員 52 名。会費納入率 68.5%(昨年度 74.0%)。

2) 学会誌『カリキュラム研究』第 13 号発行。会報「ニューズレター」第 31,32,33,34 号発行。

(2) 学会賞について

審査委員会による選考の結果、2003 年度は該当者なしであった。学会賞については、一定程度の質を維持する観点から引き続き従来とおりの考え方で行うものの、とくに若手研究者の研究を活発化させるための方策を別途検討することとなった。

(3) 次期大会開催校について

次年度は、東の方ということで東京学芸大学において開催することで内諾を得たとの原案を承認した。

(4) その他

1) 国際交流委員会報告

・「カリキュラム研究」第 14 号に、「海外カリキュラム研究情報 第 3 回 台湾」を掲載することが前回理事会(2004 年 3 月 6 日)で了承されており、執筆は林明煌会員、田中統治会員にお願いし、承諾を得たこと。

・「カリキュラム研究」第 15 号には、第 4 回としてシンガポールを取り上げる方向で準

備を進めること。

2) 事務局より

今年は会員名簿の発行年であり、現在名簿を事務局で作成中であるが、転居先不明など連絡が取れなくなっている会員が多いことが報告され、この8月にもう一度、確認の作業を行うこととなった。また、1999年度から2003年度までの年会費未納14名について、4年間未納の場合は退会扱いとして名簿から除外することが確認された。

< 総会報告 >

理事会で承認された議案をすべて承認した。

(1) 第14回大会年度決算報告(2003年4月1日~2004年3月31日)

2004年7月4日

項目		予算額(円)	決算額(円)
収入の部	学会費	3,800,000	3,723,000
	入会金	100,000	104,000
	寄付	0	20,000
	雑収入・冊子代・利子等	70,000	87,575
	前年度繰越金	2,412,229	2,412,229
	合計	6,382,229	6,346,804

項目		予算額(円)	決算額(円)	
支出の部	第14回学会大会経費	585,000	946,320	
	小計	585,000	946,320	
	第13号紀要刊行費	850,000	747,936	
	学会賞	0	0	
	印刷費(会報・封筒等)	300,000	143,535	
	通信費	600,000	340,970	
	会合費(含交通費)	500,000	521,031	
	事務局人件費	760,000	470,802	
	消耗品費	100,000	78,525	
	財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000	
	各種委員会経費	400,000	199,304	
		・編集委員会	200,000	199,304
		・広報委員会	50,000	0
		・国際交流委員会	100,000	0
		・研究委員会	50,000	0
	予備費	300,000	0	
次年度繰越金	1,937,229	2,848,381		
合計	6,382,229	6,346,804		

(2) 第 1 5 回大会年度予算案 (2004 年 4 月 1 日 ~ 2005 年 3 月 3 1 日 予定)

2004 年 7 月 4 日

収入の部	
項 目	予算額 (円)
学会費	3,700,000
入会金	100,000
雑収入	50,000
前年度繰越金	2,848,381
合 計	6,698,381

支出の部		
項 目		予算額 (円)
第 1 5 回学会大会経費準備費		585,000
第 1 4 号紀要刊行費		850,000
各種 委員会経費	編集委員会	200,000
	広報委員会	50,000
	国際交流委員会	100,000
	研究委員会	50,000
学会賞		0
印刷費 (会報等)		300,000
通信費		600,000
事務局人件費		760,000
会合費 (含交通費)		500,000
消耗品費		100,000
財) 日本学術協力財団賛助会費		50,000
予備費		300,000
次年度繰越金		2,253,381
合 計		6,698,381

< 第 1 5 回大会報告 >

第 15 回大会は、去る 7 月 3 日と 4 日両日、愛知教育大学において開催されました。梅雨のさなか、雨が心配されましたが、幸いにもこの 2 日間は梅雨の晴れ間というべき晴天にめぐまれ、予想をはるかに上回る総勢 3 0 0 名を超す参加者 (当日参加者約 100 名を含む) があり、盛会に終了しました。

現在、21 世紀を迎えて日本の教育はカリキュラム改革の真っ只中にあり、公開シンポジウム、及び 4 つの課題研究 (カリキュラム経営と教師の力量形成、カリキュラム研究の理論的基礎、教育評価、少人数指導) のテーマのどれをとっても現代の関心事で、焦眉の課題であったことが、盛会の大きな理由であるかと思われます。実に公開シンポジウム (下写真) には 350 人を上回る参加者があり 最終日の午後からの課題研究にも 100 名を越える会員が残って、熱い活発な討論が展開されました。



同時に、本大会では会員の 80 名近くの方々からの 60 件を超える自由研究発表もあり、地道な日頃の研究発表と交流にとっても、意義深い場になりました。

また、懇親会には 100 名を越す会員の方々や本学の田原賢一学長も参加され、互いに地元の酒を酌み交わしながら、会員相互の交流を深める良い機会になったのではないかと考えます。

ただ、こうした中で、大会をお引き受けして初めての経験で不手際もあり、会員の皆様にはご迷惑をかけることも多々あったかと思いますが、そうした点については次期開催校への引き継ぎ事項とさせていただきたいと存じます。本当にありがとうございました。

(文責：愛知教育大学 寺西和子)

< 学会誌第 14 号 論文原稿募集 >

学会誌「カリキュラム研究」第 14 号(2005 年 3 月発行予定)の論文原稿を募集しています。論文投稿の締め切りは本年 9 月末日、送り先は編集委員会宛です。お間違えのないようお願いいたします。

606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院 教育学研究科 田中耕治研究室内

日本カリキュラム学会「カリキュラム研究」編集委員会

< 日本学術会議より >

日本学術会議より、次の声明が出され、事務局にも届きました。ここに紹介いたします。

声明「社会との対話に向けて」

日本学術会議、2004 年 4 月 20 日

我々日本学術会議は、科学者と社会が互いに共感と信頼をもって協同することなくして、いかなる科学研究も生命感の漲る世界を持続させることができないことを認識する。さらに、我々は、科学研究は、社会が享受すべき成果をもたらす反面、社会に対する弊害を引き起こす恐れがあるという正負両面があることを、科学者も社会も明確に理解すべきであると認識する。

このような認識に立ち、我々は、科学者が社会と対話をする事、特に人類の将来を担う子どもたちとの対話を通して子どもたちの科学への夢を育てることが重要であると考え

る。我々日本学術会議は、これから科学者と社会がしっかりと手をつないでいくことを推進する。まず、日本学術会議は、子どもたちをはじめとするあらゆる人々と科学について語り合うように、全ての科学者に呼び掛ける。また、日本学術会議は自ら、科学に対する社会の共感と信頼を醸成するために、あらゆる可能な行動を行う。

ファクシミリ送信票

宛先 日本カリキュラム学会事務局
03 - 3204 - 9246

日本カリキュラム学会 2004年度名簿作成用 個人
8月31日までに送信、投函してください。

整理番号

この3項目は、名簿に
記載いたします。
よみがな
氏 名
専攻分野

	会員種別（ をつけてください ）： 一般 ・ 学生 ・ 法人
連絡先	学会誌、ニューズレター等学会事務書類の発送先の指定：自宅 ・ 所属機関 （どちらかに をつけてください。）
自宅情報	掲載不可の項目の に、×を付けてください。 郵便番号 住 所 電話番号 ファクシミリ
所属機関	掲載不可の項目の に、×を付けてください。 名称 ・ 部局 郵便番号 住 所 電話番号 ファクシミリ
	電子メール

事務局からの諸連絡を確実にお手元にお届けできるように
連絡先に指定した住所は 必ずご記入いただきますようお願い致します。
。

整理番号

< 事務局から >

(1)名簿情報確認のお願い!

みなさま、名簿掲載情報の修正ならびに掲載項目のチェックはお済みでしょうか。修正が必要もしくは名簿掲載項目の指示がある方は、名簿作成用個人票を事務局までお送りください(締め切り: 8月31日(火))。4月にお送りした個人票を紛失された方は、前ページをご使用ください。なお、返信のない方については、前回発行の名簿と同様の記載となります。

現在、以下の40名の会員の方に、住所不明で郵便物をお届けできておりません。連絡先をご存じの方はお手数ですが、ご本人に「学会事務局へ住所変更の連絡」をしていただくようお願いいただくか、連絡先(現住所、電子メールアドレス等)を8月31日(火)までに事務局までお知らせくだされば幸いです。

お名前(入会年、種別)	合田尚樹(2000,学)	中井文彦(1998)	宮前 貢(1994)
赤熊俊二(1999)	Ms.Mariko.Gomi	西田一裕(2000,学)	村瀬公胤(2000,学)
赤野達哉(1999)	(五味麻理子)(1998,学)	朴 南洙(パク・ナム)	山口佳耶(2001,学)
池田和子(2001)	左巻健男(2000)	(1999,学)	山田潤次(1990)
石倉篤(2002,学)	ト田真一郎(2002)	橋本 都(1994)	山田裕司(1999,学)
岩橋 学(1998,学)	ジャンチブ ガルバドラッハ	馬場泰弘(1997)	山田芳明(1999)
碓井信一(1990)	(JANCHIV GALBADRAKH)	坂野重法(1999)	横山秀樹(2000,学生)
大平孝憲(1998,学)	(2001,学)	平山 勉(1990)	吉井 明(2001)
門田理世(Ms.Riyo	庄司珠貴(2001,学)	福原 剛(1998,学)	吉川成夫(2000)
Kadota)(1998,学)	生野桂子(1995)	松下 尚(2002,学)	リュウ 11(2001,学)
菅 道子(1996)	竹綱珠衣(1999,学)	松信浩二(1999,学)	五十音順
岸 光城(2001)	塚本俊行(1998,学)	三谷晃人(2000,学)	

(2)学会年会費納入のお願い! 納入率ダウン。

第15回大会が終わりました。総会で報告したとおり納入率が前年度より5.5%ダウンしました。同封しました振込用紙をご利用になり、できるだけ早く納入して下さるようお願い致します。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、各人の納入状況につきましては、宛名ラベルに印字しております。ご確認ください。

(3)夏休みについて

事務局のある早稲田大学が7月30日から9月20日まで夏季休業のため、この期間中は学会事務局もその機能を縮小いたします。特に8月7~18日は一斉休業期間のため、事務局を完全に閉鎖しております。ご了承ください。

〒169 8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学教育学部内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL & FAX 03 - 3204 - 9246

or 03 - 5286 - 1561

振替口座番号: 00880 0 69090

E mail: jscs@nifty.com

学会の URL: <http://www.edu.waseda.ac.jp/jscs/index.htm>